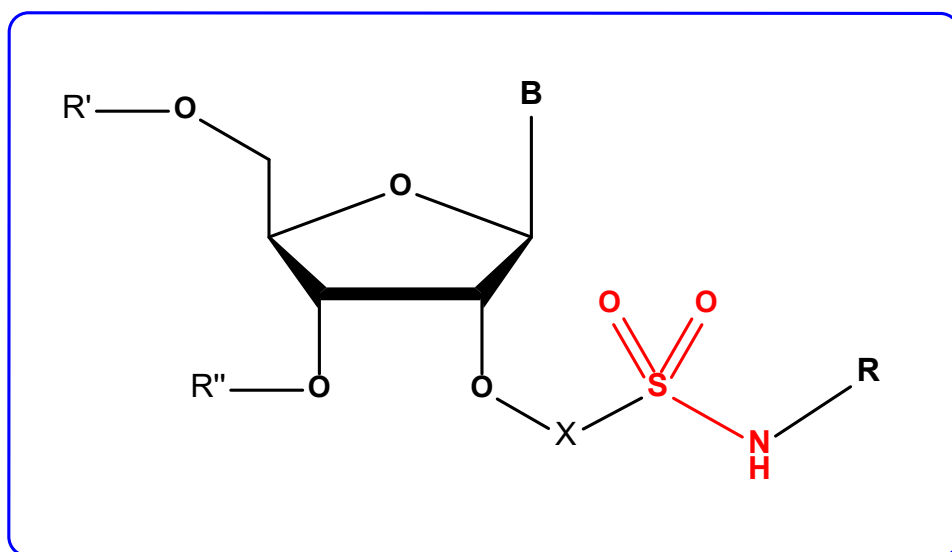


2'位にアミノスルホニルアルコキシ基を有する新規人工核酸

新技術の概要

生体内で分解されずにかつ標的核酸（特にRNA）に対する結合能を保持した人工核酸、及び該人工核酸を組み込んだ、臨床に適用可能なアンチセンス核酸等

- 核酸の五炭糖の2'位にアミノスルホニルアルコキシ基を導入した新規な人工核酸、及び、該人工核酸を組み込んだアンチセンス核酸等を合成
- これらのアンチセンス核酸等は、生体内で分解されずにかつ標的核酸に対する結合能を保持



Synthesis of 2'-O-[3-(N-methylsulfamoyl)propan-1-yl]ribothymidine as a potentially applicable 2'-modified nucleoside for antisense oligonucleotides. Tomori, T.; Uekusa, K. Koyama, A.; Kanagawa, T.; Yoshiaki, M.; Seio, K. *Bioorg. Med. Chem.* **2022**, 73, 117002.

本技術のアピールポイント

- 生体内で分解されずにかつ標的核酸に対する結合能を保持

用途分野

- アンチセンス核酸医薬

特許情報

発明の名称 2'位にアミノスルホニルアルコキシ基を有する新規人工核酸

発明者 清尾 康志、正木 慶昭 他

出願 特願2022-31303（出願日:2022/3/1）

公開 特開2023-127483（公開日:2023/9/13）

本学整理番号 21T173